

とき：平成26年12月24日

健康づくりのための組織育成

吉備中央町役場 保健課 地域保健班
管理栄養士 伊達 道子



吉備中央町

吉備中央町の概要

【平成16年10月1日合併】

人口：14,524人

高齢化率：33.14%



へそっぴー

【平成26年10月1日現在】

人口：12,511人

高齢化率：37.10%

出生数：67人（24年）

死亡数：246人（24度）



吉備中央町

保健課 スタッフ

保健課 課長

●地域保健班

保健師 5名

管理栄養士 1名

栄養士 1名

事務職 2名

臨時看護師 1名

●医療保険班

事務職 3名

●子育て支援班

事務職 3名



健康づくりボランティア

●愛育委員 10地区 168名

●栄養委員 8支部 49名

委嘱：委員は、町内各地域の住民の推薦により選出される。

委嘱期間：2年間

メリット：町長から委嘱されているのだから2年間だけでも地域みんなさんのために頑張ろう。

デメリット：選出困難



見えてきた課題

<愛育委員>

- ・ 検診・乳幼児健診の補助的な役割がなくなったことで人とのふれあいが少なくなり、愛育の顔を地域の方に知ってもらう機会が減った
- ・ 個人情報保護法（15年制定）により、地域での訪問活動がしにくくなった（行政側からの情報提供の制限）
- ・ 訪問しても時間が合わず対話ができない
- ・ 自分自身活動が見えない
- ・ 次期委員の選出

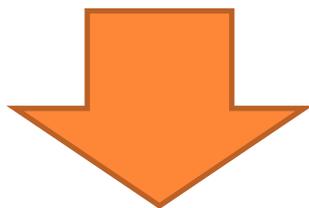
<栄養委員>

- ・ 次期委員の選出
- ・ 委員数が少なく活動回数が多い
- ・ 栄養委員の活動は多いが認知度が低い

愛育・栄養の活動の停滞・衰退？

<要望書>

地区からの要望書として、愛育、栄養の必要性が見えない。高齢化等のため受けてくれる人がいない。そこまでして協力しないといけないのか疑問である。そのためにも目的・必要性・委員の数・必要以上のサービスではないか検討され、**真の必要なサービスをするための「改革」を望む。**



組織育成の在り方について
見直しをする必要がある



転 結

吉備中央町の取り組み

岡山県の三大祭

吉川八幡宮当番祭



加茂大祭



吉備中央町

住民の生きがいや幸せな暮らしを目指した組織育成

目的：愛育委員・栄養委員の活動を住民が理解し必要性を感じることができる

目標：愛育委員・栄養委員自身がお互いの顔・地域・活動を知り、地域がもっと元気になるための方法を一緒に考え行動できる

計画（手段）

- ①地区の愛育・栄養の顔を知る・活動を知る
- ②もっと地域が元気になるために自分たちに何ができるか一緒に考える
- ③具体的にどんな活動が一緒にできるか考える



各支部の話し合い



1回目

<テーマ>

地区の愛育委員・栄養委員の
顔を知る、活動を知る



合同研修会



神賀 下竹 丹波
上竹 吉川
豊野 大和

「健診を受けて
健康づくりをすす
めよう」
香川大学
アドミッション
教授 眞鍋



2回目

<テーマ>

もっと地域が元気になるために！



私たち
愛育・栄養が
できること



役場からの情報提供内容

- 吉備中央町の人口・高齢化率・平均寿命・健康寿命
- 吉備中央町死亡状況
- 特定健康診査受診率・がん検診受診率推移
- 国民健康保険医療費（県内比較）（疾病別受診件数・医療費）
- 後期高齢者医療費（県内比較）（疾病別受診件数・医療費）

<地区別>

- 地区別高齢化率
- 介護保険認定状況
- 特定健康診査結果
- 塩分調査

自分の住んでいる地域
はどんな地域かな？

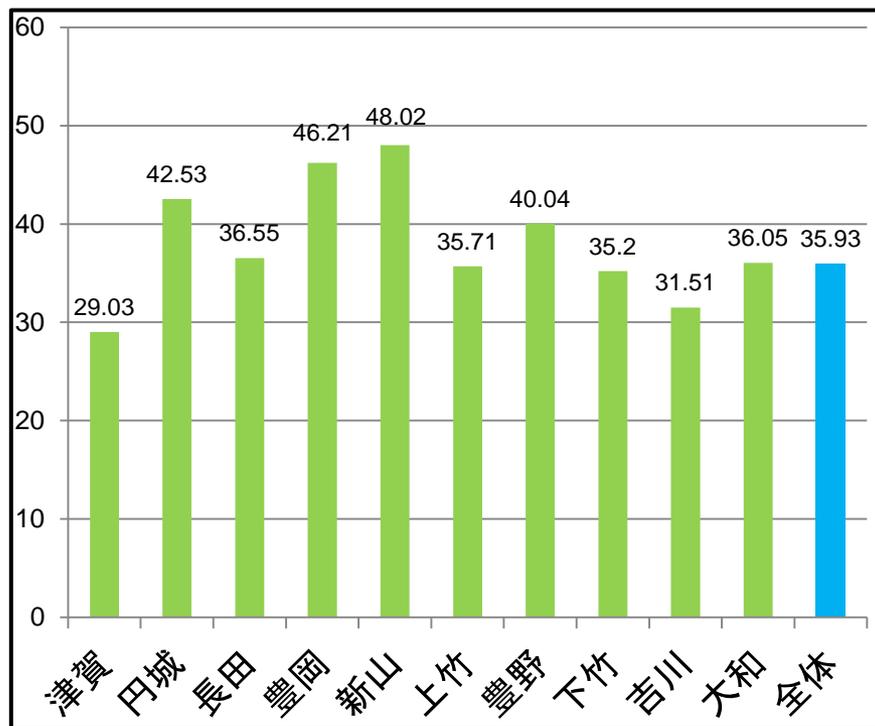


自分の地域は
どんな地域かなあ？

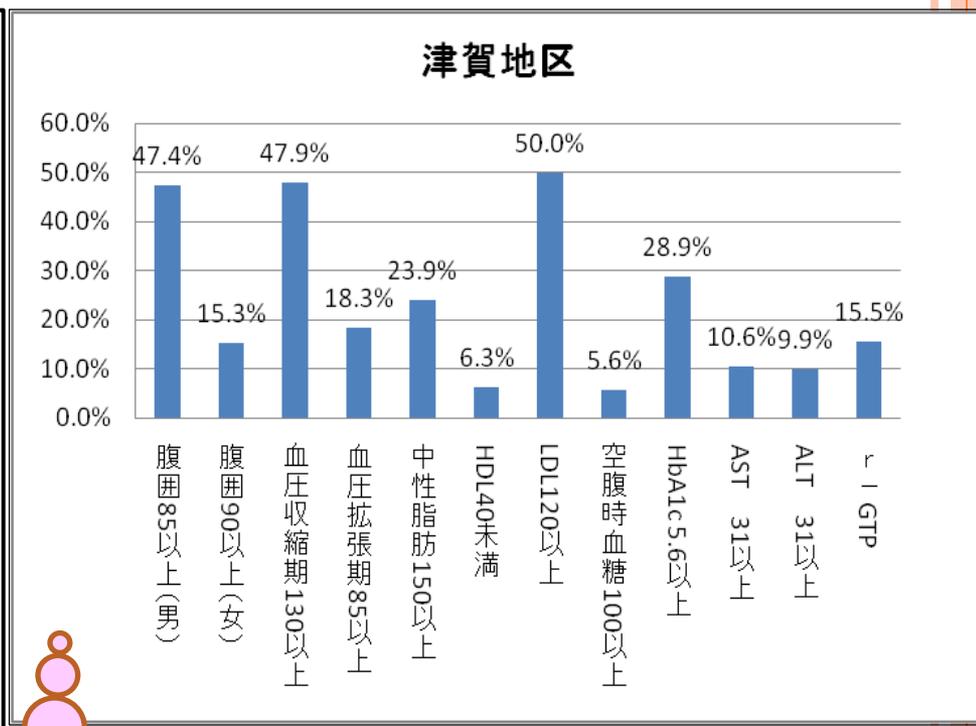


地区別高齢化率

(平成25年5月1日現在)



平成24年度 特定健康診査結果



自分の地域は、若い方多いけど
男性は肥満が多いなあ・・・





- ・愛育委員・栄養委員を知ってもらうための広報活動
- ・集まった時に、ラジオ体操やきびきび体操を行う
- ・高血圧予防のために汁物塩分測定を行う
- ・生活習慣病に対して楽しく改善できることを見つける
- ・健康メニューの試食を提供
- ・町の行事に参加する
- ・声かけを行う



3回目

<テーマ>

具体的にどんな活動が一緒に
できるかな





・独居高齢者の配食サービスを愛育委員、栄養委員と一緒にやりたい

・いきいきサロンなど既存の事業へ声かけ、入らせてもらう。
愛育、栄養で役割を決めて実施



大和支部

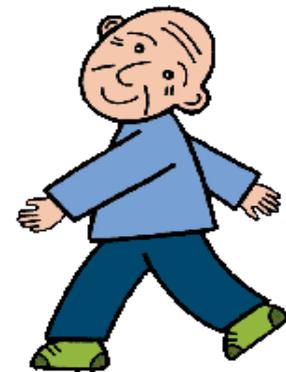
ありがとうございます。
ございます。

地区社協(大和をもっとよくしよう会)

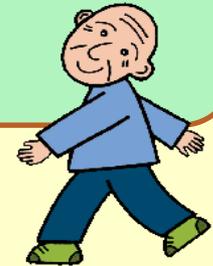
目的：大和地区でも少子高齢化や核家族化が急速に進み住民のつながりが希薄化になり、昔ながらの向こう三軒両隣の自然な見守りや支えあいをもう一度見直す。

- ①自分ができること（自助）
- ②みんなで助け合ってできること（共助）
- ③行政や専門職にゆだねること（公助）

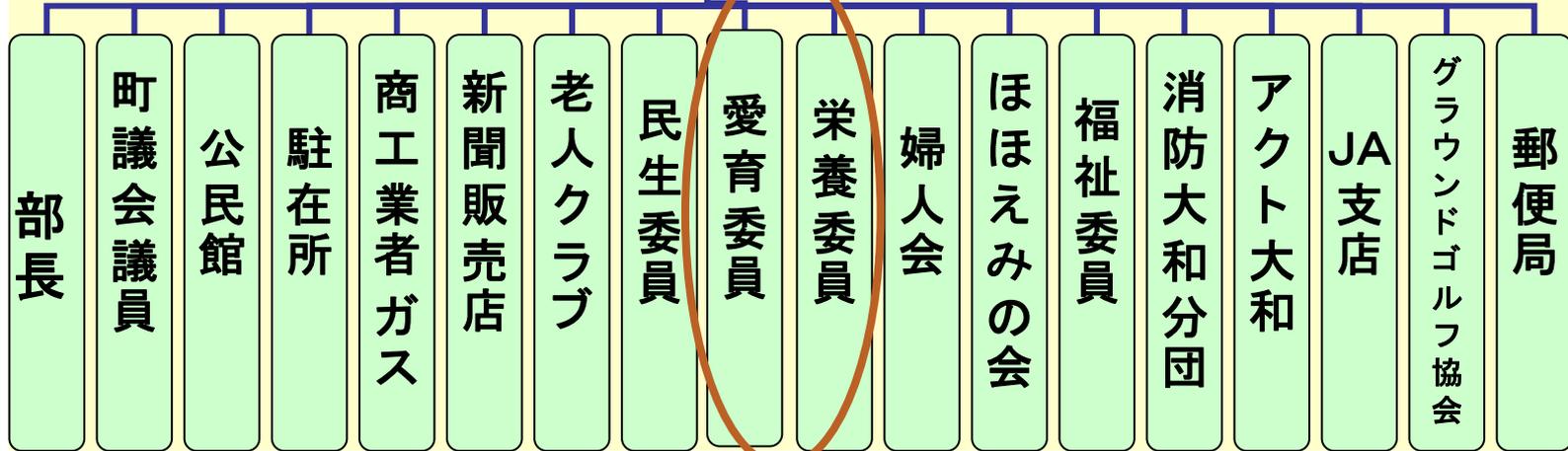
3つの力を上手く働かせる



大和をもっとよくしよう会 事務局（大和公民館）



困りごとを一緒に考えます



困ったら

住 民

あれっ？
と思ったら
電話ください。

大和地区健康の集い(8月29日)

- 対象者： 65才以上の高齢者
- 目的： 楽しく体操し、食を考えつつ、交流を深め孤立化を防ぐ。
- 具体策： 交通手段がなく引きこもりがちな高齢者の参加を呼びかける。
- 内容： 健康体操（保健課指導）
ゲーム、軽食会食、栄養委員の話



児童との交流 (三世代交流)



昔なつかしい
大和小学校歌
を熱唱してくれ
ました。

栄養委員等が作っ
てくださった料理を
子どもたちと楽しく
会食しました。



26年度の地域活動の取り組み

社協

地区社協

大和をもっとよくしよう会



愛育委員会



栄養改善協議会

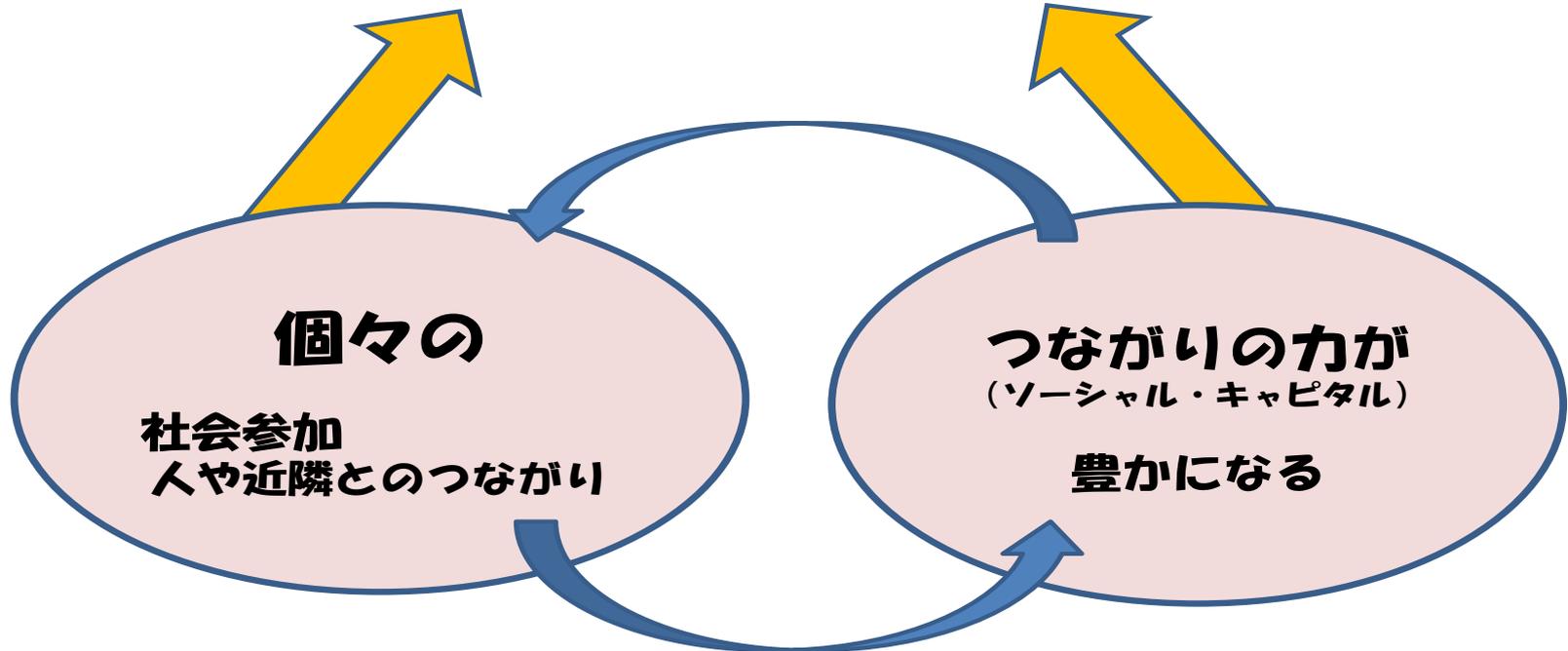


行政



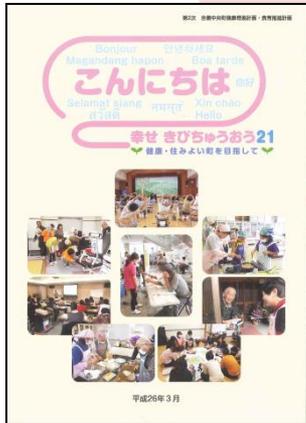
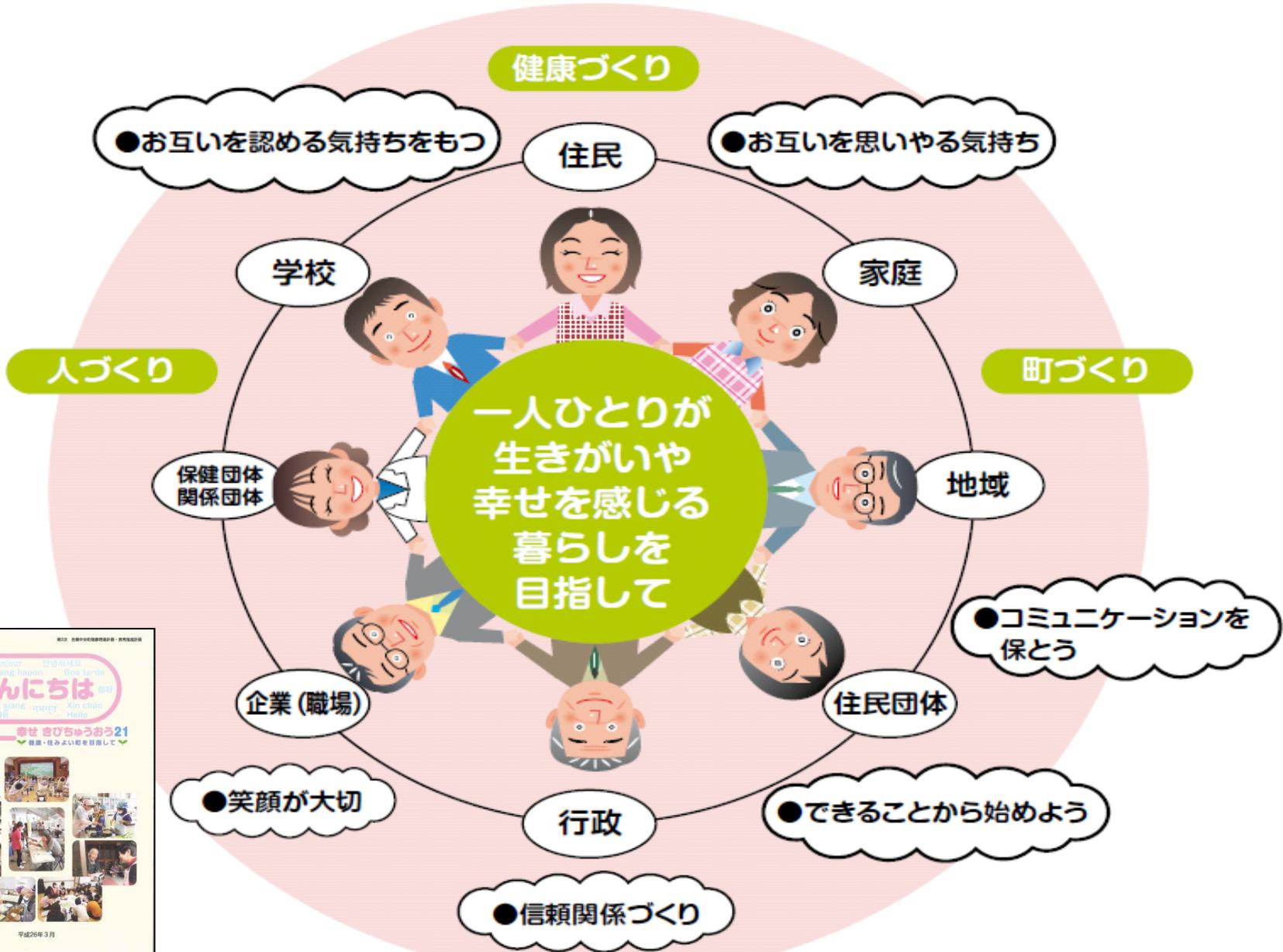
つながる力は、みんなの健康につながる

健康づくり



一人一人が社会とのつながりを意識することで
地域全体としてつながりが豊かになる

第2次 吉備中央町健康増進計画・食育推進計画



ご静聴ありがとうございました。



友琳の庭



プッポウソウの
「へそっぴー」